

もみじ福祉会 ニュース



2006年5月 第43号

発行/社会福祉法人

もみじ福祉会



第一もみじ作業所(知的) 第二もみじ作業所(身障)
グループホーム つばさ/たんぽぽ/夢トピア
身体障害者福祉ホーム 夢トピア
もみじヘルパーステーション 夢トピア
障害者生活支援センター めーぷる

〒730-0823 広島市中区吉島西2-1-24
TEL082-243-0331 FAX082-243-0497
HP:fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組めます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達障害、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

未来を拓こう! ✨



2006年度スタート

豊かな実践を

明日の力に

もみじ福祉会理事長 浜崎 勝



障害者自立支援法が実施される今、新しいキャンパスに向かって、何を描こうかと戸惑っているときに似ています。描くべき夢や発信すべきイメージが持ちにくいからです。

もみじ福祉会では「障害者自立支援法」の対応で連日様々な分野で話し合いを重ねています。

希望や夢に心を弾ませることとは縁遠いことばかりです。その一つが「日割り計算」。苦肉の策としての第一第三土曜日の開所。仲間や職員の所得保障や豊かな暮らしを得るために出勤日を増やすのなら元氣もですが、施設運営を維持するために対応せざるを得ないことに

矛盾を感じます。

「賃金」は働く意欲の原点です。仕事起しや仲間の努力で賃金アップを目指しても年間一五〇万の収入を越えれば社会福祉法人の軽減措置が適用されず逆に通所の負担が増えます。重度のグループホーム入所者も工賃アップで負担増のケースも。

また、五年先までの移行期間がありますが「施設体系の見直し」は、共に支え合い働いてきた仲間が「就労移行」「就労継続(非雇用)」「生活介護」に分類される不安があります。仲間や保護者の要望の強いグループホームづくりも運営上の見通しが厳しくなりもみじ福祉会のめざした「3・4・5大作戦」の窮地だと言えます。

しかし、白いキャンパスの前で戸惑っていても始まりません。決まったからには法は法ですが、その対応に汲々することだけにエネルギーを費やし元氣を失い、もみじ福祉会の豊かな実践を切り崩すことに終わらせてはなりません。それは、まさに「財政難」を理由にみんなで築き上げてきた「権利としての福祉」を「自己責任による福祉」の道へと強めてしまうことにな

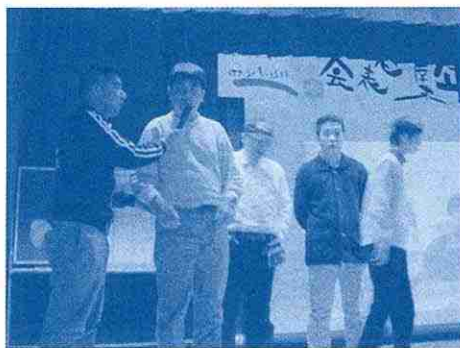
るからです。

先日、白石教授を招いて、もみじ作業所の事例研究がありました。そして、今、もみじ福祉会の総括会議が開かれています。もみじ福祉会の実践の豊かさ仲間との確かな成長を改めて実感し確信できる取り組みです。仲間の願いに添った豊かな実践・運動が自立支援法と対峙し明日を開く最大の武器です。一緒に頑張りましょう。

明日が見える 私たちの歩み

年度末発表会

2005



新しい仕事、「木工」ははじめました

二〇〇六年三月三〇日(木)、中区社会福祉センターにおいて、年度末発表会を行いました。

年度末発表会は、ダンボール、さをり・縫製、クッキー・パン、リサイクル、印刷・販売の五つの仕事グループ、そしてボナース活動、仕事おこし(木工作業活動)について、その内容を一年に一度振り返り、また、同じ作業所で働く別のグループの仲間がどのように仕事をがんばっているか知り、次年度への意欲につなげていくことを目的に毎年開催しています。

今年は三年に一度の大きな会場の開催で、映像や写真を用いるなど発表の内容に各グループで工夫がみられました。

クッキー・パングループ



印刷・販売グループ



売上アップ、給料アップを目指してがんばるぞ!



ダンボールグループ



リサイクルグループ

さをり・縫製グループ



保護者会、理事・評議員の方々にも参加していただき、仲間の労働への取り組みを伝えることができました。観覧された方々からは、「日常あまり見ることができない仕事の様子が分かって良かった」などの感想が寄せられました。

完成！

2000円



平和な
世界を！



となります。
木村まで

33人の織りびと展 Vol.2

毎年大好評のもみじTシャツが完成しました。仲間が描いた原爆ドームに、電法第9条を英訳して添えた「平和Tシャツ2」と、海を優雅に泳ぐ「マンタTシャツ」が今年の新作です。暗いニュースが多い世の中、立ち止まって大切な人と平和について考えてみてはいかがでしょうか。(平和Tシャツの売上の一部は、原爆ドーム保存のために寄付します)

2006年2月16日(木)～21日(火)まで本通ギャラリーてんぐスクエアで「33人の織りびと展」を開催しました。「29人の織りびと展」から2年間、毎日織り機にむかってきたもみじの織りびとたちの笑顔と夢と涙(?)の結晶が詰まった展示会でした。



売上は金メダル！

今回もいつかいちむぎの家・おそろ作業所・きつつき共同作業所・共同作業所ふたばのみなさんとの合同展示会でしたが、前回に比べるとこの作業所もかなりレベルアップしてびっくり！「もみじもようかうかしていられない・・・」と仲間と職員が実感しました。

それでも保護者の方々ははじめ、もみじを応援してください。てんぐの方々がたくさん来てくださり、六日間で二十八万円の売り上げがあり、五つの作業所では一位(金メダル)になりました。本当にありがとうございました。

力を合せて

日曜日には前回好評だったアルゼンチンタンゴの生演奏もあり、来場者も六日間で三百人ちかくあったのではないかと思います。

場所がら外国人のかたもいらして英語の対応にタジタジになったりもしました。でもいろいろな人たちに見ていただけてとてもうれしかったです。やっぱ

帽子、ベストなど、心のかもった作品がズラリ



り展示会はいいですね！

仲間もがんばりました。今回はなるべく保護者の方々に頼らず自分たちでやろうと決めて、店番当番も長い時間ががんばりました。

「いらつしゃいませ！」「ありがとうございます。」は大きな声で・・・これは私が織りました。とさりげなく自分の作品をアピールして・・・織りのデモンストレーションもして・・・笹口くんは自分の織りでできたすてきな洋服を自ら着用してモデルまでしてくれました。もちろんお気に入り自分で自分の給料で買い上げ!!ありがとうございました。



店の外でも
さたり織り実演

もみじ作業所との出会い

久村 忍さん



私は、うたごえサークル国鉄ひろしまナツパズルのメンバーとして約二十五年間、平和で人間らしく生きていきたいと願う仲間たちと、職場・地域でうたごえを響かせてきました。そんな中で、もみじ作業所の仲間たちと出会いました。

出会った当時は、もみじ作業所の法人化に向けていろいろな取り組みがされていた。その取り組みのひとつが「ともだちコンサート」でした。

ともだちコンサートは、もみじの仲間たちの、「夢をかたちに」していくためのワンステツブでした。もみじらしいすばらしい歌がたくさん生まれ、一緒に感動のステージを作り上げ成功させました。もみじの仲間たちの、障害をもつていてもひとつひとつの夢をかたちにしていく

多くの人たちの応援で建設した「夢トピア」も三年目を迎えることができました。支援してくださった皆さん、本当にありがとうございます。

身障ホーム・グループホームで暮らす仲間たちも、時々ばかりあうこともあるけれど、助け合いながら楽しく安定した生活が送れるようになりました。

夢トピアは今...

身障ホーム・グループホーム
ショートステイ



いきいき教室より

長年のもみじ作業所を支えて下さっている久村さん。月に二回のアルミ缶回収では、優しい笑顔で迎えてくれます。これからもよろしく願います。

「二灯照隅・万灯照国」
いつとうしようう・まんとしようこく
一本のロウソクの灯は片隅しか照らせないが、万と集まれば国もおも照らす。

団とともに障害者が安心して生活できる環境をみんなで作っていきましょう。
最後に私の好きな言葉をもみじの仲間たちに。
「二灯照隅・万灯照国」
いつとうしようう・まんとしようこく
一本のロウソクの灯は片隅しか照らせないが、万と集まれば国もおも照らす。

長期休暇の移動介護の増加です。障害児・者の地域生活を支えていくために、ヘルパー派遣事業が果たす役割の大きさを実感し、さらによりよい支援ができるように、ヘルパーの量・質の向上などの課題に意欲的に取り組んでいきたいと思っています。

その他は、三階の地域交流スペースを利用し、昨年夏から「児童いきいき教室」が週に二回スタートしました。この取り組みを推進したのは、「めーぶる(障害者生活支援センター)」です。めーぶるは児童への取り組みは

もみじTシャツ新

① 平和Tシャツ2



① 平和Tシャツ

色：チャコールグ

Article 9
Aspiring sincerely to an internal peace based on justice and order, Japanese people forever renounce as a sovereign right of the nation the threat or use of force as a means of settling international disputes

戦争のない

② マンタTシャツ 1700円

色：赤・紺・白・ピンク

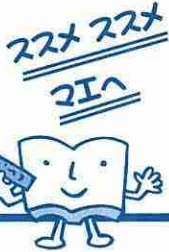
気持ちよさそうに泳いでるよ〜



マンタのイラストは白のTシャツは紺色、赤・紺・ピンクのTシャツはシルバーでプリントされています。

*サイズはSS~LLまであります。(若干大きめです)
*色はホームページでもカラーで紹介しています。
*広島市内であればお届けします。遠方の場合は、送料はお客様負担
*お問い合わせ→もみじ作業所 (TEL082-243-0331) 印刷・販売ク

研修報告



きょうされん 第3回 仕事部会

2月9・10日

二〇〇六年二月九日、十日にかけて埼玉県浦和にてきょうされんの仕事開発研修会「明日のしごとを創る！」が開催されました。

研修は、工賃UPのための提案というところから、全国的に総勢百六十人の参加者が集まり、会場も寿司詰め状態で、どの作業所も工賃アップを目指して必死になっている思いが伝わってきました。

二日間にわたって六つの講座があり、以下のことを学びました。

一つめは、魅力ある商品づくりのためには、街に出ていろいろなものをたくさん見ることや試作品をたくさん作る事で職員

自身のセンスを磨いていく努力が大切であることです。この話をされた工業デザイナーの荒川さんが関わられている作業所では、カード入れの大きさ・布のデザイン・中に入れる芯の材質などを吟味し九年かけて定番を作り上げたという話がされ、も

「3・4・5大作戦」の中で給料五万円を目標に上げていますが、こういう発想からいくとまだまだ「絵に描いた餅」のようです。専門家の力も借りながら数値の分析や仲間の給料五万円の戦略が必要です。

全国的にも、レストランを経営したり、豆腐づくりのノウハウを販売したりとユニークな発想で仲間の給料を五万円、七万円とアップしている作業所も増えてきています。私たち職員も「福祉」という視点を少し変換して、仲間のやりがいと共に自立できる所得保障を目指してがんばっていかねばいけません。

基調講演では、きょうされん常務理事の藤井克徳氏が「全貌が明らかになった障害者自立支援法、その本質をどう読み解くか」と題して講演されました。この法の問題点は、応能負担から応益負担に切り替えられるところにあります。この四月から

利用者は障害者年金と月に約一百万円の給料から、作業所に通所すれば利用料や給食費を払わなければいけなくなります。その為作業所を退所せざるを得ない利用者が出てくるのではないかと大変心配になりました。

二日目は分科会が行われ、私は「知的・身体障害者に視点を当てて」に参加しました。助言者の福山市立女子短期大学の高橋実先生からの提案で、障害者に限らず自分にとって働くことの意義について、一人ひとりが発表しました。労働の持つ意義について、障害があろうがなかろうが、同じ思いを持っていることに気付かされました。また、発達段階を理解した上での実践の大切さを改めて感じました。

人間にとって労働とは何か、その人に合った仕事を切り開いていくために、どう考えていけばいいのかヒントを得ることができ、元気をもらった研修でした。

きょうされん 実践交流会

2月18・19日

一日目の特別講演では、広島県教育研究所事務局の高橋信雄氏が「憲法九条、二十五条と障害のある人たちの生活」と題

展示会は自分の作品を目の前で評価してもらえて仲間が本当にうれしく、自信につながる素敵なイベントです。仲間たちはもう次の展示会のことを考えています。「今回は商品が多すぎてごちゃごちゃしてたよ」「マフラーを売るのには時期が遅いんじゃない?」「他の作業所に負けないような商品を作ろう」と意欲満々です。次の展示会でも金メダルが取れるように頑張ろう! エイ! エイ! オッ!!

夢トピアの中にある「もみじヘルパーステーション」も二年が経過し、ますます利用してくださる方も増えました。二年目の特徴としては、夕方や土・日

利用者は障害者年金と月に約一百万円の給料から、作業所に通所すれば利用料や給食費を払わなければいけなくなります。その為作業所を退所せざるを得ない利用者が出てくるのではないかと大変心配になりました。

二日目は分科会が行われ、私は「知的・身体障害者に視点を当てて」に参加しました。助言者の福山市立女子短期大学の高橋実先生からの提案で、障害者に限らず自分にとって働くことの意義について、一人ひとりが発表しました。労働の持つ意義について、障害があろうがなかろうが、同じ思いを持っていることに気付かされました。また、発達段階を理解した上での実践の大切さを改めて感じました。

人間にとって労働とは何か、その人に合った仕事を切り開いていくために、どう考えていけばいいのかヒントを得ることができ、元気をもらった研修でした。

次回が楽しみ☆

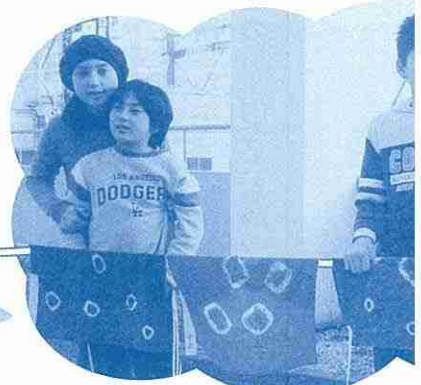
きたいと思っています。

併設した短期入所(ショートステイ)も、一年目に比べ、二年目は飛躍的に利用が増え、定員三名が満床になる日も多くなりました。レスパイトや訓練的に泊まれる方もいますが、冠婚葬祭や介護される方の病気等、緊急度の高い利用も増え、ショートステイの必要性を痛感する日々でした。

三年目、「障害者自立支援法」施行で、障害児・者を取り巻く環境がますます厳しくなってくる中、地域の中で安心して暮らせるよう、夢トピアを拠点としながら地域生活支援の取り組みを前進させたいと思っています。三年目もぜひご支援・ご協力よろしく願います。

開所から2年

ヘルパーステーション めーぷる



を高める活動「ものづくり・ゆめづくり」も月二回開催しています。児童・成人を問わず、豊かに過ごせる取り組みや集団の必要性を感じ、さらにこれらの取り組みを充実させていきたいと思っています。

- 12月
- 1日 佐伯区障害児学級見学来所
 - 2日 育成園保護者見学来所
 - 3日 役員・職員障害者自立支援法学習会(青木講師)
 - 5日 県立広島養護学校実習開始
 - 6日 学生無年金訴訟・高裁結審
 - 7日 きょうされんがんばるデー
 - 8日 もみじ作業所地域販売デー
 - 9日 クラブ活動
 - 10日 広商デパート・なかよし保育園出店
 - 12日 もみじ福祉会第28回評議員会・65回理事会
 - 13日 市立養護学校保護者見学来所
 - 15日 自治会クリスマス会
 - 19日 司法修習生見学交流
 - 22日 広響マーガレットコンサート出演
 - 27日 仲間・仕事納め
 - 28日 大掃除・納会
 - 29日 全館害虫駆除作業

2006年

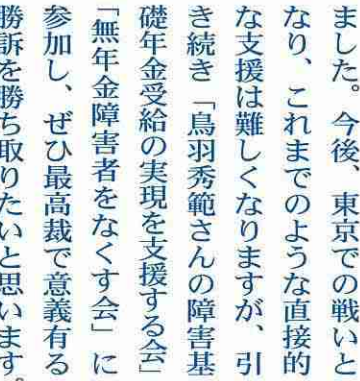
- 1月
- 5日 仕事始め(餅つき、新年互礼会)
 - 11日 もみじ作業所地域販売デー
 - 15日 中島地区とんど祭り出店
 - 16日 ビジネス専門学校実習開始
 - 19日 クラブ活動
 - 24日 庚午中学校より実習来所
 - 19日 ビジネス専門学校実習開始(〜30日)
 - 26日 舟入小学校との交流会
 - 27日 中区社協主催・雪遊び参加
 - 30日 市立養護学校実習開始

- 2月
- 1日 フリースペースくろすより実習開始
 - 2日 もみじ作業所地域販売デー
 - 9日 クラブ活動
 - 9日 吉島小学校との交流会
 - 13日 広島大学1年生見学実習(〜14日)
 - 14日 市就労支援センター:作業所見本市参加
 - 15日 愛媛チューリップ作業所見学来所
 - 16日 さをり展示即売会(〜21日)
 - 20日 刑務官見学交流(〜21日)
 - 22日 学生無年金訴訟・高裁判決
 - 27日 利用者検診II

- 3月
- 1日 もみじ作業所地域販売デー
 - 5日 石川県立学校より夢トピア見学来所
 - 9日 消防設備点検II
 - 17日 きょうされん:はばたこう交流会参加
 - 22日 司法修習生見学交流
 - 23日 防火訓練II
 - 27日 もみじ福祉会第29回評議員会・66回理事会
 - 生活自立訓練終了式
 - 30日 もみじ作業所年度末発表会

- 4月
- 1日 もみじ福祉会・新入職員研修会
 - 5日 もみじ作業所地域販売デー
 - 6日 もみじ作業所街頭署名活動
 - 14日 保護者会総会 白石先生研修会(〜15日)
 - 17日 生活支援事業総括会議I
 - 21日 もみじ作業所2005年度総括会議(〜22日)
 - 24日 生活支援事業総括会議II
 - 23日 女性の健康セミナー出店
 - 27日 自治会ひまわり会総会
 - 30日 広島市障害者陸上競技大会

行事日誌



(2005年10月～2006年2月まで、敬称略)